

平成24年(2012年)2月20日(月曜日)

故阿久悠さん作詞 23日にCD発売

世界遺産登録へ 応援歌「富士山だ」

数々のヒット曲を生み出し、2007年に亡くなった故阿久悠さんが生前に作詞した歌「富士山だ」が、「富士山の日」の23日にCD発売されることになった。歌手の加藤登紀子さんが作曲したアップテンポな曲で、06年

に公の前で一度歌われたきり、お蔵入りしていた。世界文化遺産登録の機運の高まりを受けて、三島市のNPO法人グラウンドワーク三島が「富士山の新しい応援歌」と発売を決めた。

思慕、シンプルに表現

阿久さんの詞は富士山への思慕をシンプルに表現している。

朝に見ても 富士は富士
夕べに見ても 富士は富士

は富士は富士
笑って見ても 富士は富士
涙で見ても 富士は富士

曲作りは06年、同NPO法人の渡辺豊博事務局長が知り合いの音楽プロデューサー酒井政利さんに相談したのがきっかけ。伊東市内に在住していた阿久さん

んが04年ごろに富士山の詞を書き、手元に置いていたことが分かった。作曲は加藤さんに依頼した。

当初、阿久さんは詞のタイトルを「富士が好き」としていた。加藤さんが「富士山を見つけた時に、誰もが感動を込めて最初に発する言葉『富士山だ』にしたらどうか」と提案し、改題した。



故阿久悠さん



阿久悠さんが作詞した「富士が好き」の歌詞を手にするNPO法人「グラウンドワーク三島」の事務局長渡辺豊博さん＝13日、三島市

渡辺事務局長は「東日本大震災以降、被災者を県内に招き、元気になってもらうショー・ツアーを行っている。820人が参加したが、富士山を見ると皆元気になる。それだけエネルギーのある山」と話し、「世界文化遺産登録への期待とともに、今の閉塞(へいそく)感を歌を通して打ち破りたい」とCD化の理由を話した。

歌はジャズ歌手若生りえさんとキーボード奏者ルイイさんによるユニット「ムーン・リバー・ウォーカーズ」が歌う。